



みのわ通信No.52

発行：箕曲地域づくり委員会
名張市夏見215 箕曲市民センター内 TEL：63-0453



春を迎え、入園、入学、入社式が行われ、新たな思いを胸にスタートのこの時期、各地では桜の花が満開です。箕曲では桜と共に桃が満開です。

平成二十五年地域ビジョンのキックオフとして、地域の史跡夏見廃寺の広場に、ひな祭りに合わせ桃の木の植樹を行いました。児童をはじめ地域の人々二百人近くが参加し、ステージでは舞や、雅楽の演奏が披露され、また、皆で桃のほほ笑む校歌を斉唱しました。

桃の花が咲き誇る故郷に

地域ビジョン「箕曲は桃の里構想」

地域づくり委員会は「箕曲は桃の里構想」びいちびちの活気あふれた地域を目指して活動を始めました。その後、瀬古口の前山や個人の庭にも植樹が広がりました。今年の開花はいかがでしょうか。ビジョン同様、路途中で、残念ながらすすべてが活着よく根付いたとは言えません。

時は流れ当時の舞姫ちゃんは高校生に。校庭の桃の木は子ども達が愛(め)で、実をつけ食しています。世話も上級生から次の学年へ引き継がれています。地域の活動としても、地域のサロン「もも太郎」子育てサロン「ももちゃん広場」健康体操「びいちびち」も立ち上がり、サークルとして活発に活動中です。住みやすいまちへと計画をさらに進めて…大地に根を張り幹太く

枝葉が茂り、そしてきれいな花を咲かせましょう。



ほんとうの幸せ

「度十(けんじゅう)公園林」(宮沢賢治)

あらずし 子ども達にもバカにされていた度十(けんじゅう)が杉の苗を育てる。それを見守る家族、意地悪をされても杉林を守る度十。亡くなつてからも家族に守られ、やがて子ども達の憩いの場、人々

から愛される場所になった。みんなから役立たずと思われていた土地が、役立たずの子が行ったことが、後に多くの偉人をはぐくみ人々をいやす地域の宝物となつた。

原文 「ああ全く

たれがかしこくたれが賢くないかはわかりません。ただどこまでも十力の作用は不思議です。」

私たちは地域の良し、所を伸ばし誇りとし、たりない所は助け合い、課題の解消に努めましょう。そこには十力の後押しが続き、きつといい街になっていきます。

桃の花	上品な桃色の花は暖かい春を告げます。		みんなが生きがいを 持って暮らせる明るい 未来のまちをつくり ます。
桃の実	桃の実幼児のほっぺのよう で、思わず触れ たくなります。		人とのふれあい、み んなの絆を大切にす るまちをつくりま す。
桃の木	古くより桃は 災いから守っ てくれるとい われています。		みんなの暮らしを守 り安心安全なまちを つくりま す。

※地域ビジョンはHPでご覧になれます